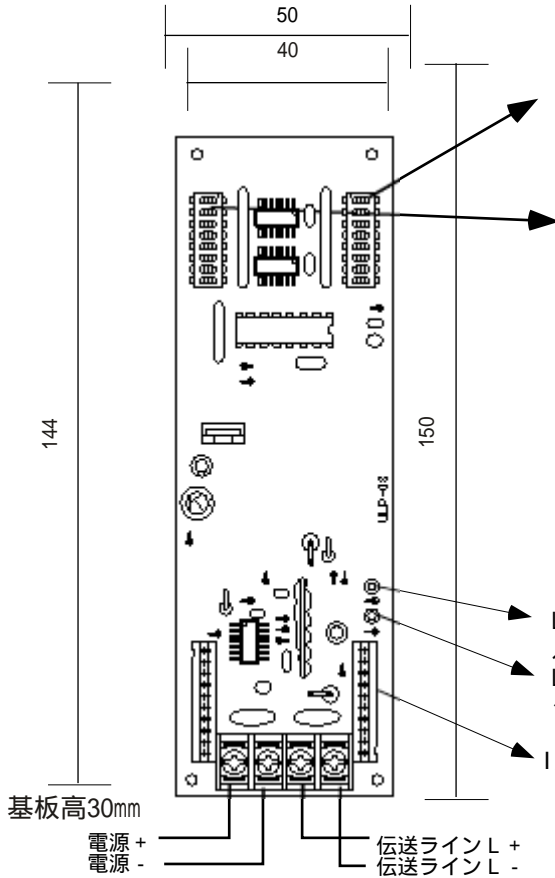


特徴

- ・伝送主基板（ULP03）の機能限定廉価タイプ基板です。
- ・伝送主基板（ULP03）との違いは、24V専用であることと、伝送クロック出力機能が無い（サブモード専用）ということです。



出力設定SW

ON

8 設定方法
増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる
1 (SW1～8の2進数合計をONする)

ON

1 設定方法
増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる
8 (SW1～8の2進数合計をONする)

アドレス設定

左図のULP03の放熱フィンの下にあるダイヤルSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

例
右側に増設する出力基板（SR8RY）の最終が48の場合
16+32=48 SW.No 5と6をON

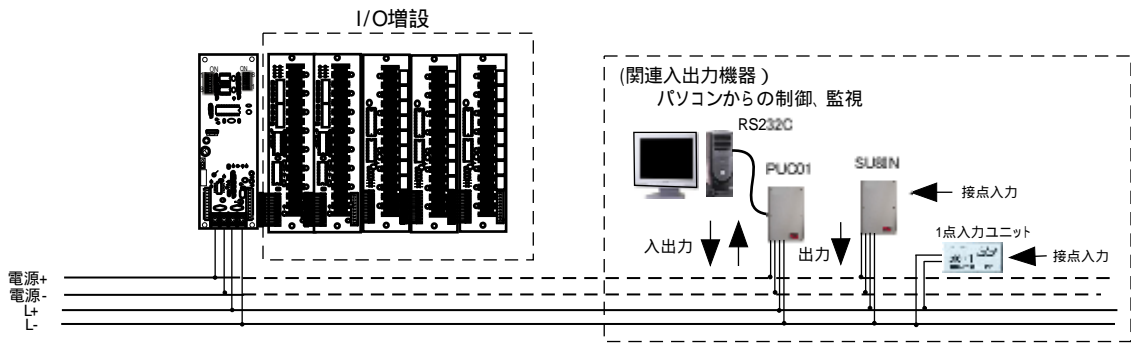
例
右側に増設する入力基板（SR8IN）を81から使う場合
81-1=80なので16+64=80
SW.No 5と7をON

アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス=接点信号のI/O番号となります。

- LED上側-伝送ライン
入力信号表示
- LED下側-伝送ライン
クロック表示
- I/O増設用コネクタ

注) 電源側 0V 及び伝送ライン側 L- には接地アースを取らないで下さい。

接続方法



仕様

電源電圧	DC24V
消費電流	400mA (突入電流1A)
質量	約60g